

海外動向

カウアイ コミュニティ カレッジへの派遣について



山本桂一郎*

Keiichi Yamamoto

1. はじめに

2012年10月から2013年9月までの1年間の予定で、米国ハワイ州カウアイ島にある、カウアイコミュニティカレッジ¹⁾ (Kauai Community College:以下KCC) に派遣されている(写真1)。KCCは、3つの大学のキャンパスと7つのコミュニティカレッジの計10キャンパスからなるハワイ大学システム²⁾の下にある一つのコミュニティカレッジである。大学の詳細については参考HPを参照してほしい。ここで、なぜKCCに派遣されているかということであるが、私が所属している高等専門学校機構には、在外研究員という制度があり、最長1年間の期間、外地に出ることができる。これは、申請者が希望の申請をしたのち、理事長の承認によって認められ許可が出るというものである。行き先は明確な理由をもって自分で決めることができ、私はKCCで再生可能エネルギーのインストラクションの講義や実習を通して、日本と米国との教育の違いを比較し、優れた点を高専の教育に反映させることを理由として派遣されることを望んだ。私自身は、在外研究員に、できるだけ早いタイミングで行くことができればと考えていた。そして、職場の同僚に迷惑を極力かけない時期をねらうつもりで申請を提出したが、申請後に事情が変わることが多く、結局、多くの方に迷惑をかけている状態であり恐縮しているところである。

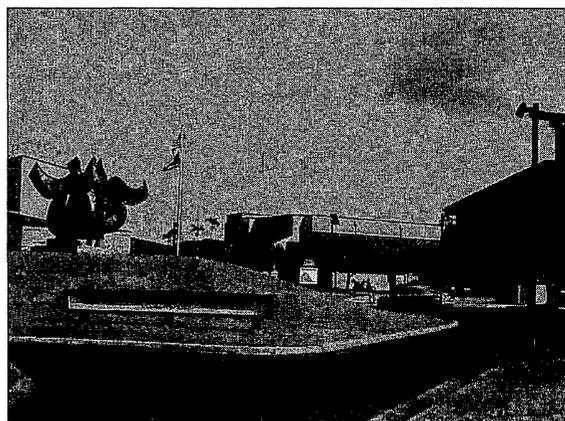


写真1 カウアイ コミュニティ カレッジ

2. Kauai Community College とのかかわり

KCCと本校の関係は、4年前からスタートした商船学科学学生向けのインターンシッププログラムに始まる。このプログラムの内容は興味深く、1970年代から始まる、のちにハワイアンルネッサンスといわれる時代に建造された、ホクレア号(国立科学博物館に模型が展示されている)と同じ構造(大きさは異なる)のナマホエ号という航海カヌーを、KCCハワイアンスタディの先生であるDennis Chunが中心となって、カウアイ島で建造している。先人たちがどのようにハワイに渡ってきて、その伝統的航海手法がどれだけ優れていたかはすでに検証されているが、のちの子供たち、いわば、つながっていく人々に、その手法をきちんと伝えていくことを目的としている。このプロジェクトの時間軸は大

* 富山高専専門学校 射水キャンパス, 正会員